

## 公表 事業所における自己評価結果

事業所名	多機能型事業所Uru		公表日 令和 8 年 3 月 6 日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	2	2		<ul style="list-style-type: none"> <li>・体を動かす活動を行う際には、十分な広さが確保できず安全面や活動内容に制限が生じることがある。</li> <li>・年長児は机の高さが合っていない児童が多いため、園で使用されているような机の準備が必要である。</li> <li>・活動によっては範囲が制限されてしまう。</li> <li>●ご意見ありがとうございます。子どもたちが楽しみながら活動に参加できるように環境を整えていきたいと思ひます。</li> </ul>
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	1	3		<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の特性を踏まえると十分とは言えない状況。職員の経験値に差があり他職員に負担が偏る傾向あり（活動の状況等にもよる）</li> <li>・職員研修やお休み（有給・急な休み）の際は、他事業所からのヘルプ対応で支援できている日もあるし、職員が足りないこともある。</li> <li>●ご意見ありがとうございます。人員基準を満たしています。しかし、基準以上の配置を視野に入れています。職員も働きやすい環境を整え安心して支援できるように努めて参ります。</li> </ul>
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	2	2		<ul style="list-style-type: none"> <li>・可能な限り活動スペース等の区分けなど工夫はしているが建物が一般住宅である為、設備等においては難しい部分がある。</li> <li>●ご意見ありがとうございます。限られたスペースを最大限活用して事業所で提供できる支援を心がけていきたいと思ひます。</li> </ul>
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	3	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活空間において可能な限り配慮した工夫をしているものの建物が住宅である為、十分に子供たちの状況、状態、特性に合わせた環境になっていない。</li> <li>●ご意見ありがとうございます。建物の環境においては改善が難しい部分がある為利用児の状況に合わせて環境を整えていけるように職員で共有していきたいと思ひます。</li> </ul>
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別に使用できる部屋やスペースがない。共有スペースを工夫して利用している。</li> <li>●ご意見ありがとうございます。スペースの確保が難しいこともありますが個別にアプローチが必要な児童には部屋を区切ったり別室に誘導する等、配慮しながら支援していきたいと思ひます。</li> </ul>
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	3	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・十分に理解した上で参加できていない。特に新しい業務については基礎や前提となる手順の説明が不十分なまま指示が出されたりと職員がついていけない状況。●新しい業務の追加はなく、法令上実施する業務は追加となっている。</li> </ul>
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	1	3		<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員の意見や現場での声が十分に反映されていないと感じる。職員にとって負担が増えているだけで目的や意義が共有されていない。</li> <li>・意見は伝えているが、業務改善につながっているかは実感がない。</li> <li>●ご意見ありがとうございます。配置転換等があり業務において役割などを理解するのに時間がかかってしまう状況がありました。その都度、良くしていくために業を出し合いながら業務改善につながるようにしていきたいと思ひます。また、属人化していた業務が多くみられた。役割の共有の周知をしてい</li> </ul>
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		1		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4			<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員が研修を受ける時間の確保が難しい。一人でも休むと送迎や日々の業務に支障が出る。相談してもサポートが得られず。</li> <li>●ご意見ありがとうございます。</li> </ul>
適切な	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4		<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所内で個別新計画含め児童に関する情報共有や話し合いをし、計画に基づいた支援に取り組んでいる。</li> </ul>	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	4			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4		<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動プログラムや支援計画などについては必ずみんなで話し合いを行い、共通理解のもと取り組んでいる。</li> </ul>	

支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4		・活動プログラムはチーム全員で話し合いを行い、利用児によって段階づけしやすいプログラムの立案などの意見も取り入れながら実施している。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4				
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	4				
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4				
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4				
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4				
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4				
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4				
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4				
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4			・送迎時に園の先生方と情報共有を行った り、保育所等訪問を利用してこどもの理解を深めたり、支援方法について相互理解を図っている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4			・事業所や園での様子、発達検査結果などをまとめ、担当者会議や文章等で情報交換を行っている。	・検証、改善については改善が必要。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。					
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。					
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加しているか。					
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	1	3			
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	3			
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4			・連絡帳をはじめ、日頃から保護者との情報共有を行い、児童の状況などについて共通理解を図っている。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	2		・夏祭りの際に、支援内容について説明したり、ご家族が気軽にお話できる場を設けている。		
4	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4			・個別支援計画や相談に関する面談は随時実施。お便りや連絡帳などを通じて児童の様子や日頃の活動についても保護者に伝えていく。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4				
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	4				
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4				

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		4		・参観日を設けることで保護者同士の交流の機会を確保しているが父母の会活動などは設けていない。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	4			
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4			
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	3		・地域住民を招いたイベントは実施していない。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4			・事務所が別になってから新しいマニュアルは整備できていない。事業所内での訓練は実施している。 ・職員体制や事業所形態が変わってからのマニュアルを整備中。 ●ご意見ありがとうございます。マニュアルについては整備途中で。職員からの意見に耳を傾けながらより良い対応を行えるようにしていきたいと思います。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	3	1		・BCPは策定されていないが、緊急時にも事業を継続できる体制構築の為、策定の検討を進めていく必要がある。●BCP（感染症、災害時）の策定されており共有しているが理解が進んでいないように感じる。再度周知する。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	4			
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	1		・現状、事業所内で食事をとることはないが必要に応じて食事環境の整備を検討していく。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3	1		・避難訓練などは行っている。安全管理が十分な環境のもとでの支援が行われているかについては設備など含め明確に評価できていない。
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4			
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	3	1		・現段階では拘束を要する対象者がいない。	

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 多機能型事業所Uru

公表日 令和 8 年 3 月 6 日

利用児童数 14

回収数 12

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	11		1		・外の活動を取り入れ（公園）等や散歩時間も あり大変満足している。 ・屋外での活動ができないので残念。	●ご意見ありがとうございます。過ごし やすい季節や時期には所外活動（おさん ぼ・公園）等も取り入れて子どもたちが 思い切り体を動かして遊べるように計画 しています。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	6	2		4		●ご意見ありがとうございます。職員の 配置転換などもありましたが子どもたち を安心して受け入れることができるよう に今後も心がけていきたいと思ひます。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思ひますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思ひますか。	9	2		1	・2階の事業所の為、バリアフリーなどの配慮 がない。	●ご意見ありがとうございます。現在該 当の利用児がいない為階段を利用しており ます。室内はバリアフリー化しており ます。必要時には階段の配慮をいたしま す。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思ひますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思ひますか。	12					
適切な支援の提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思ひますか。	12					
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思ひますか。	11			1		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思ひますか。	12					
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思ひますか。	12					
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思ひますか。	12					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思ひますか。	11	1				●ご意見ありがとうございます。子ども たちが楽しく活動できるように個別、集 団と今後も内容を工夫しながら進めてい きたいと思ひます。音楽療法等、うちな らではの活動も取り入れています。
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	6	1		5		
保護者への説	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	12					
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	12					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	9	1		2		●ご意見ありがとうございます。面談や 参観日などを通して普段のようなこと を行っているのかを保護者の方に知って もらう機会を作ったり、教材を紹介し たりすることで自宅でできることを取り 組んでもらえるようにしています。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思ひますか。	12					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	12					
17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思ひますか。	12						

明 等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	5	4	1	2	・参観があり保護者の方と話す機会がある。 ・保護者同士の交流の機会は特に求めていないので無くて良いと思う。	●ご意見ありがとうございます。保護者様の負担軽減等を考慮し父母の会を設けておりません。必要に応じて開催できるように検討していきます。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	12					
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	12					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	10	1		1		●毎月のお便りやその日の様子等連絡帳や連絡ツールを使用して情報共有を行えるようにしています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	12					
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	11			1		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	10	1		1		●ご意見ありがとうございます。定期的に避難訓練を実施し防災意識を持てるように取り組んでいます。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	11			1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	11			1		●ご意見ありがとうございます。その都度、子どもさんの様子で気づいたことがあった場合にはすぐに連絡をさせていただいております。またお家で何か変わったことがあった場合には聞き取りを行い、事業所でも安心して過ごせるように配慮しています。
満 足 度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	12					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	12					
	29	事業所の支援に満足していますか。	12					

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	多機能型事業所Uru		
○保護者評価実施期間	令和 8 年 2 月 9 日		～ 令和 8 年 2 月 20 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	14	(回答者数) 12
○従業者評価実施期間	令和 8 年 2 月 9 日		～ 令和 8 年 2 月 20 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	令和 8 年 3 月 9 日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	●活動の中に音楽療法を取り入れています。	・音楽療法士による音楽療法を毎週1回、定期的に行っています。発達に合わせたプログラムを個別・集団の中でアプローチすることで自己肯定感を高めると共に成功体験へと繋げられるように支援しています。音楽療法士を中心としてそれぞれの職員と連携して活動を行うことで専門性を活かしながら支援を行うことができています。	・音楽療法で取り入れているプレイや歌遊び、楽器遊びを職員研修等で紹介し、支援員が実際に体験として知ることによって子どもたちの表現する力に共感できるようにしていきたいと思います。また、体育館や地域のセンター等、広い場所で開催することでのびのびと表現できる機会を今後も増やして行けるといいなと思えます。
2	●毎日の振り返り、ミーティングを欠かさず行い次回の支援へとつながるようにしています。	・その日の利用児の様子を全員で把握できるように一人ひとり様子を伝え合いどのように支援をしたり声をかけたりしたのかしっかりと話し合う時間を設けています。振り返りを行う中で職員間で意見交換を行いより良い支援へと繋がるようにしています。	・さらに支援の質の向上を目的として子ども一人ひとりの発達や行動をアセスメントする力を育むためにケース会議や職員研修を実施していきたいと思えます。
3			

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取り組みや工夫が必要な店等
1	●職員の定着化	・小規模な保育園、幼稚園と勘違いして入職されるスタッフがおり療育に関する知識や活動や支援におけるギャップを感じる方もおりなかなか職員の確保が難しい状況にありました。	・職員の見学や面接時にお伝えすることをしっかり決めて必要なことは事前に伝える対応を心がけたり未経験の方でも安心して働くことができるように具体的にどんなことをしているのか実際に見てもらえるようにしていきたいと思えます。
2	●職員研修や勉強会への参加が現状、難しい状況にあります。	・職員が全員揃っての研修や勉強会の実施がなかなかできていないことがあげられます。職員の働き方によっては午前勤務あるいは短時間勤務などの働き方もそれぞれです。また多機能型事業所の為、1日利用児の支援を行っているため時間の確保が難しいです。	・自己学習できる研修制度を今後も活用していきつつ、より実践に近い形で専門職からの意見を聞いたりする時間を設けて支援の質をさらに高めていけるようにしたいと思えます。
3			